

## 4. ケララ森林研究所からの要請内容

### 4-1 ケララ州地域住民参加型流域保全モデル開発計画

#### 4-1-1 要請事業の内容

##### 1) 要請事業の目的など

上位目標

- ・ 西ガーツの生物多様性・森林植生の改善
- ・ ケララ州の地滑り、洪水、干害など自然災害軽減等による社会経済条件の安定

プロジェクト目標

- ・ 実践的なチャラクディ川流域の管理計画が策定される。

裨益人口

- ・ チャラクディ川流域の人口:約 50 万人
- ・ チャラクディ川流域の指定部族:2,000 人
- ・ 技術移転を受ける KFRI 職員、及びモデル事業参加機関職員

##### 2) 要請事業の対象地

要請事業の対象地は、ほぼ州央に位置するチャラクディ川流域。対象面積約 17 万 ha。チャラクディ川は、河口からほぼ 10km 地点で、ケララ州最大の河川であるペリヤル川と合流する。チャラクディ川は同州 8 位の流域を持つ河川で、流域面積は州面積の 4.5%に相当する。

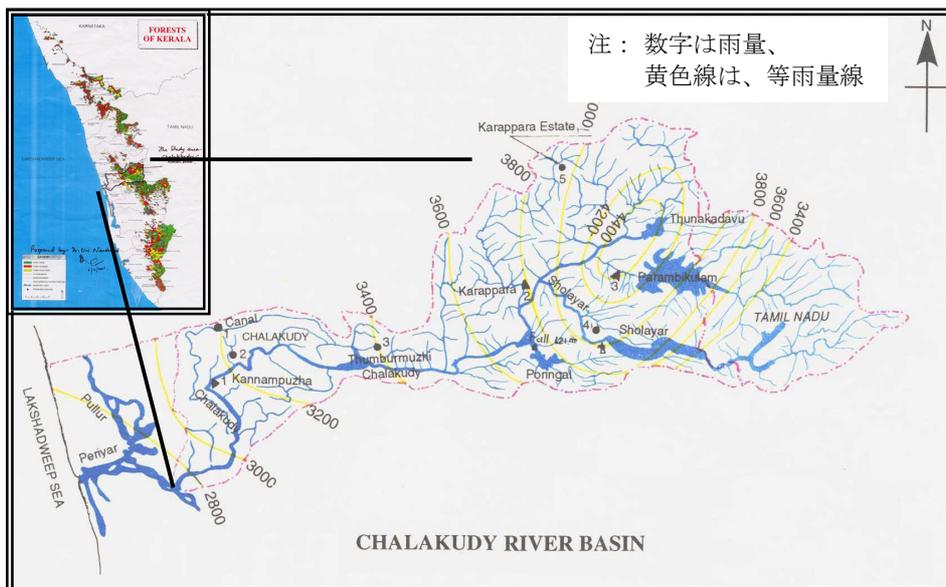


図 4-2-1 要請事業の対象地

### 3) 要請事業の背景

#### 対象地域の概況

チャラクディ川流域は、ケララ州のほぼ中央に位置している。流域の土地利用状況は、KFRI作成の図 4-2-2 よれば国有林地と農地がそれぞれ約 50%となっている。同流域上流部の森林地域（図 4-2-2 の着色部分）のうち約半分（流域面積の 25%）は、樹冠比率 40%以上の密林、残りは荒廃林とプランテーションであり、森林復旧、流域保全のための事業が必要な土地である。チャラクディ川の下流域は農業地帯となっているが、無秩序な水田下層のレンガ用土の採取や川砂採取による流域環境の破壊が問題となっている。

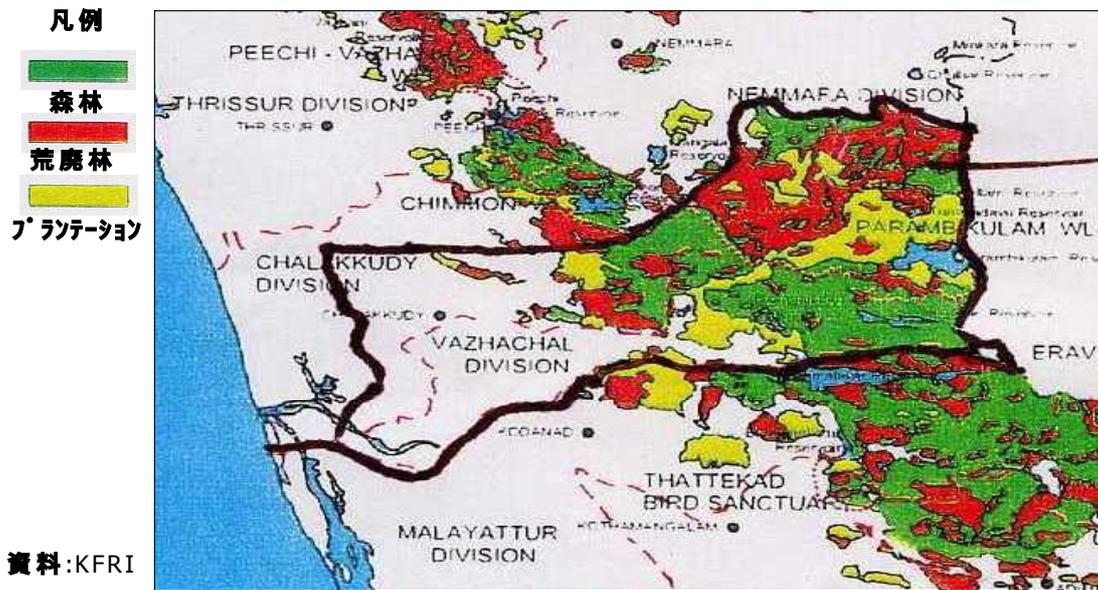


図 4-2-2 チャラクディ川の森林状況

同流域の上流部では、1960 年代にショラヨール (Shorayar)、ポリングルク (Poringalkuth) の二つの水力発電ダムが建設された。同流域の 3 つ目のダム付近について、EIA を実施した結果、建設計画は中止された<sup>1</sup>。同流域の北東部には、パランビカム野生生物保護区 (Parambikulam Wildlife Sanctuary) が指定されており、森林局が管理に当たっている。

<sup>1</sup> KFRI からの聞き取り